



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7923 URL <https://www.toin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO兼COO (氏名) 春 公明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画統括 (氏名) 坂戸 正朗

TEL 04-7131-2111

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	11,819	4.5	23	92.9	11	96.8	75	71.1
2019年3月期	12,379	1.8	332	18.2	356	16.8	262	26.7

(注) 包括利益 2020年3月期 269百万円 (%) 2019年3月期 267百万円 (62.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	15.06		0.8	0.1	0.2
2019年3月期	52.09		2.8	1.9	2.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 50百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	17,891	9,012	50.1	1,780.64
2019年3月期	19,091	9,370	48.8	1,851.90

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,962百万円 2019年3月期 9,321百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	742	1,020	256	2,256
2019年3月期	857	1,030	726	2,779

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		5.00		12.50	17.50	88	33.6	1.0
2020年3月期		5.00		7.50	12.50	62	83.0	0.7
2021年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	1.5	30	26.4	30	163.5	0	100.0	0.00

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	6,377,500 株	2019年3月期	6,377,500 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,344,253 株	2019年3月期	1,344,253 株
期中平均株式数	2020年3月期	5,033,247 株	2019年3月期	5,033,247 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	11,018	5.4	55		43		19	92.7
2019年3月期	11,643	0.7	327	23.9	349	20.1	264	11.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	3.82	
2019年3月期	52.49	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	17,825	9,272	52.0	1,842.29
2019年3月期	19,097	9,669	50.6	1,921.18

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,272百万円 2019年3月期 9,669百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化による世界経済の減速などにより特に機械関連輸出が悪化したことや中国経済の減速・日韓関係の悪化などによる訪日外客数減少に伴うインバウンド消費の下振れなど力強さに欠ける状況で推移いたしました。また、2月以降に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により国内外の経済をさらに下押しする状況で推移いたしました。

包装資材業界においては、人手不足を背景に国内の雇用・所得環境は堅調に推移してまいりましたが、個人消費は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動、天候不順などの影響によりやや低調に推移したことに加え、インバウンド消費の下振れなどで停滞気味に推移いたしました。さらに、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大によりインバウンド消費が消失したことなどによりさらに悪化いたしました。

当社グループは、このような状況のもと、包装資材事業においては、新規取引先開拓や既存客先からの受注拡大に向け、引き続き当社加飾技術等のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かく実施いたしました。その結果、国内の売上高は、日用品分野は前年比で増収となりましたが、インバウンド消費が大きく下振れしたことや天候不順が続いたことなどで化粧品分野及び食品分野が低調に推移いたしました。ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)の売上は大幅な増収となりましたが、グループ全体の売上高は10,592百万円(前期比3.5%減)となりました。

精密塗工事業は、積極的な営業活動を展開いたしました。米中貿易摩擦の影響などにより、電子部材の受注が不調となったことに加え、他分野からの受注も伸ばせなかったことなどで、売上高は、683百万円(前期比13.6%減)となりました。

その他事業は、受託包装において、化粧品分野で定期的な受注品を確保した一方で企画品の受注や食品分野の定期品の受注が減少したことなどで、売上高は544百万円(前期比11.1%減)となりました。

この結果、当連結会計年度の全体の売上高は11,819百万円(前期比4.5%減)となりました。

利益面については、包装資材事業は、高効率機械の移動の安定化、生産計画の精度向上、更なる品質保証体制の徹底などの諸施策を推進してまいりました。また、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)においても、生産体制の整備が進捗し、生産性・採算性を向上させたため大幅な増益となりました。しかしながら、国内において、受注が低迷したことに加え原材料・副資材・人件費などの各種製造コストや物流コストの上昇を十分に吸収しきれなかったことなどにより減益となりました。

精密塗工事業は、売上高の減少により減益となりました。

その他事業は、受託包装において、柔軟性のある生産体制の編成などにより採算性を向上させましたが、売上高が減少したことでわずかに減益となりました。

この結果、当連結会計年度の営業利益は23百万円(前期比92.9%減)、経常利益は11百万円(前期比96.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより75百万円(前期比71.1%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産は17,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,200百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が522百万円、受取手形及び売掛金が229百万円、投資有価証券が489百万円減少したことによるものであります。

負債は8,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ842百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が181百万円、流動負債のその他が設備関係電子記録債務の減少などにより322百万円、借入金が149百万円、繰延税金負債が146百万円減少したことによるものであります。

純資産は9,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が328百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ523百万円減少し、2,256百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、742百万円の収入(前年同期比13.5%減)となりました。これは主に、仕入債務の減少242百万円、法人税等の支払額108百万円等の支出があったものの、減価償却費902百万円、売上債権の減少221百万円等の収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,020百万円の支出(前年同期比1.0%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,133百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、256百万円の支出(前年同期は726百万円の収入)となりました。これは主に、借入金の純減額149百万円、配当金の支払額87百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、わが国経済は、依然として米中貿易摩擦や地政学リスク等が存在することに加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大による輸出企業の業績悪化の広がりや個人消費の大幅な下振れなどにより景気は大きく後退すると予想されます。

包装資材事業をめぐる情勢については、少子高齢化の進行による将来不安に加え、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、幅広い業種で休業が本格化することや外出自粛要請の強まりなどから個人消費は大幅に下振れすることが予想され、また、収束の目途が立たないことから長期的な低迷が予想されるなど非常に厳しい事業環境が継続すると思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に当社製品を安定的に供給すべく、その最優先課題として従業員及びその家族の新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むとともに、業容の維持・拡大を目指し、新規分野の開拓、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力してまいります。また、引き続き、営業・生産・管理それぞれの組織の目的達成を重視する体制整備の強化と次世代を担う幹部・管理職・従業員育成のための取組みをさらに強化・充実させてまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き当社加飾技術のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かに実施し、化粧品分野及び医薬品分野のさらなる受注拡大、食品分野及び日用品分野の既存客先からの受注拡大と新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先及び販売チャネルの開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)及びタイ現地法人(TOIN (THAILAND) CO., LTD.)は既存客先からの増注を図るとともに、東南アジア全体の日系企業、外資系企業ならびにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

生産面においては、高効率機械の安定稼働、省人化・省力化の推進、柏第三工場拡張工事等による内作生産能力の増強、効率的な生産体制の構築、品質管理・予防保全策の再徹底、特殊な加工技法を用いた製品の生産体制の拡充、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)は、品質保証体制の再構築・新技能の習得・材料調達ルートの確立のための諸施策の実行と内部管理体制の一層の改善・強化を図り、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓を推進するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、定期的な商品の受注拡大に注力するとともに、生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化・機械化の推進、外注網の整備等で生産力の向上を図るとともに品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

2021年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高12,000百万円、営業利益30百万円、経常利益30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円を予想しております。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症の収束時期や業績に及ぼす影響に不透明な部分がございますので、今後の推移等により業績予想の修正が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,787,948	2,265,031
受取手形及び売掛金	2,703,370	2,474,234
電子記録債権	1,212,832	1,256,551
商品及び製品	394,889	454,515
仕掛品	507,541	535,896
原材料及び貯蔵品	263,112	212,563
その他	191,858	149,823
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	8,060,552	7,347,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,108,835	5,131,555
減価償却累計額	△3,491,493	△3,574,978
建物及び構築物(純額)	1,617,342	1,556,576
機械装置及び運搬具	13,419,034	14,239,987
減価償却累計額	△10,125,433	△10,766,880
機械装置及び運搬具(純額)	3,293,601	3,473,107
土地	2,319,579	2,502,499
リース資産	42,016	42,291
減価償却累計額	△26,608	△34,163
リース資産(純額)	15,407	8,127
建設仮勘定	310,155	19,889
その他	365,188	368,922
減価償却累計額	△306,776	△310,923
その他(純額)	58,412	57,998
有形固定資産合計	7,614,498	7,618,198
無形固定資産	32,519	29,409
投資その他の資産		
投資有価証券	2,894,749	2,404,869
その他	492,558	494,747
貸倒引当金	△3,050	△3,050
投資その他の資産合計	3,384,258	2,896,567
固定資産合計	11,031,276	10,544,175
資産合計	19,091,828	17,891,791

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,607	1,273,891
電子記録債務	1,678,949	1,497,936
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	849,000	1,020,000
リース債務	8,378	7,582
未払法人税等	67,471	25,181
未払消費税等	57,078	60,286
賞与引当金	124,000	116,000
その他	1,061,150	738,419
流動負債合計	5,529,635	5,089,296
固定負債		
長期借入金	2,990,000	2,670,000
リース債務	8,696	1,196
繰延税金負債	658,783	512,447
退職給付に係る負債	330,394	382,542
役員退職慰労引当金	187,624	208,164
その他	16,147	15,478
固定負債合計	4,191,645	3,789,829
負債合計	9,721,280	8,879,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,244,500	2,244,500
資本剰余金	2,901,824	2,901,824
利益剰余金	3,677,069	3,664,810
自己株式	△711,990	△711,990
株主資本合計	8,111,404	8,099,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,336,486	1,007,767
繰延ヘッジ損益	△796	△332
為替換算調整勘定	71,389	98,555
退職給付に係る調整累計額	△197,435	△242,747
その他の包括利益累計額合計	1,209,644	863,242
非支配株主持分	49,499	50,278
純資産合計	9,370,547	9,012,665
負債純資産合計	19,091,828	17,891,791

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	12,379,223	11,819,494
売上原価	10,117,280	9,877,142
売上総利益	2,261,943	1,942,352
販売費及び一般管理費	1,929,632	1,918,624
営業利益	332,310	23,727
営業外収益		
受取利息	2,524	6,447
受取配当金	36,612	42,983
持分法による投資利益	50,945	2,231
その他	6,734	6,241
営業外収益合計	96,816	57,904
営業外費用		
支払利息	50,320	54,470
為替差損	22,231	15,648
その他	315	125
営業外費用合計	72,867	70,245
経常利益	356,259	11,387
特別利益		
固定資産売却益	28,771	186
投資有価証券売却益	-	106,552
受取保険金	5,345	-
特別利益合計	34,117	106,738
特別損失		
固定資産売却損	-	165
固定資産除却損	1,987	7,334
投資有価証券評価損	740	-
貸倒引当金繰入額	3,050	-
特別損失合計	5,777	7,499
税金等調整前当期純利益	384,599	110,625
法人税、住民税及び事業税	128,467	38,358
法人税等調整額	△7,857	△1,305
法人税等合計	120,609	37,052
当期純利益	263,989	73,572
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失（△）	1,805	△2,249
親会社株主に帰属する当期純利益	262,184	75,822

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	263,989	73,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152,264	△328,719
繰延ヘッジ損益	539	463
為替換算調整勘定	△47,399	15,448
退職給付に係る調整額	△99,830	△45,311
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,173	14,916
その他の包括利益合計	3,401	△343,202
包括利益	267,391	△269,629
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	266,148	△270,579
非支配株主に係る包括利益	1,243	950

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,244,500	2,901,824	3,502,967	△711,990	7,937,301
当期変動額					
剰余金の配当			△88,081		△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益			262,184		262,184
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	174,102	-	174,102
当期末残高	2,244,500	2,901,824	3,677,069	△711,990	8,111,404

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	1,184,221	△1,335	120,399	△97,605	1,205,680	48,515	9,191,497
当期変動額							
剰余金の配当							△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益							262,184
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	152,264	539	△49,010	△99,830	3,963	984	4,948
当期変動額合計	152,264	539	△49,010	△99,830	3,963	984	179,050
当期末残高	1,336,486	△796	71,389	△197,435	1,209,644	49,499	9,370,547

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,244,500	2,901,824	3,677,069	△711,990	8,111,404
当期変動額					
剰余金の配当			△88,081		△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益			75,822		75,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△12,259	-	△12,259
当期末残高	2,244,500	2,901,824	3,664,810	△711,990	8,099,144

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	1,336,486	△796	71,389	△197,435	1,209,644	49,499	9,370,547
当期変動額							
剰余金の配当							△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益							75,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△328,719	463	27,165	△45,311	△346,401	778	△345,622
当期変動額合計	△328,719	463	27,165	△45,311	△346,401	778	△357,882
当期末残高	1,007,767	△332	98,555	△242,747	863,242	50,278	9,012,665

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	384,599	110,625
減価償却費	826,138	902,484
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	22,776	20,539
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	105,059	52,148
受取利息及び受取配当金	△39,137	△49,431
支払利息	50,320	54,470
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△106,552
売上債権の増減額(△は増加)	△71,411	221,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,456	△38,381
仕入債務の増減額(△は減少)	△132,131	△242,936
その他	△103,908	△81,852
小計	1,073,763	842,689
利息及び配当金の受取額	53,974	57,026
利息の支払額	△51,970	△54,502
法人税等の支払額	△222,901	△108,813
その他	4,982	5,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	857,847	742,368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△934,355	△1,133,694
投資有価証券の取得による支出	△8,126	△8,581
投資有価証券の売却による収入	-	140,839
保険積立金の解約による収入	15,000	-
その他	△103,210	△18,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,030,691	△1,020,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△35,414	△19,584
長期借入れによる収入	1,600,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△750,000	△849,000
配当金の支払額	△87,634	△87,768
その他	△258	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	726,692	△256,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,159	10,840
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	548,688	△523,540
現金及び現金同等物の期首残高	2,230,883	2,779,571
現金及び現金同等物の期末残高	2,779,571	2,256,031

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「長期前払費用の取得による支出」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「長期前払費用の取得による支出」に表示していた△109,488千円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の区分別のセグメントから構成されており、「包装資材事業」、「精密塗工事業」の2つを報告セグメントとしております。

「包装資材事業」は、紙器、樹脂パッケージ、ラベル、説明書等を製造販売しております。「精密塗工事業」は、電子部材・記録媒体・建材等の精密塗工製品の製造を受託しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業損益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,976,659	790,692	11,767,352	611,871	12,379,223	-	12,379,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,976,659	790,692	11,767,352	611,871	12,379,223	-	12,379,223
セグメント利益	744,985	158,339	903,325	126,759	1,030,084	△697,774	332,310
セグメント資産	11,406,212	419,744	11,825,957	774,196	12,600,153	6,491,674	19,091,828
その他の項目							
減価償却費	711,911	68,529	780,440	23,009	803,450	22,688	826,138
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,072,048	47,310	1,119,358	4,840	1,124,198	11,478	1,135,676

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額△697,774千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額6,491,674千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額22,688千円は、各報告セグメントに配分していない減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,478千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,592,188	683,070	11,275,259	544,235	11,819,494	—	11,819,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,592,188	683,070	11,275,259	544,235	11,819,494	—	11,819,494
セグメント利益	482,248	124,926	607,175	105,848	713,023	△689,295	23,727
セグメント資産	11,338,607	379,596	11,718,203	689,747	12,407,951	5,483,839	17,891,791
その他の項目							
減価償却費	792,533	62,759	855,293	22,353	877,647	24,836	902,484
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	871,596	16,958	888,554	—	888,554	29,671	918,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額△689,295千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額5,483,839千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産であります。

(3)減価償却費の調整額24,836千円は、各報告セグメントに配分していない減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額29,671千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産	1,851.90円	1,780.64円
1株当たり当期純利益	52.09円	15.06円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	262,184	75,822
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	262,184	75,822
期中平均株式数(株)	5,033,247	5,033,247

(重要な後発事象)

該当事項はありません。